

皐月 愛南文芸

城辺俳句会

図書館の人まばらなり長閑なり
 吉田 丸美
 ふり返る事なく流れ花筏
 井手 幸子
 足うらに啓蟄の土柔らかし
 大浜 紀子
 青饅や雨の一日を機嫌よく
 加納 幸子
 白てふは傷みやすきよ花辛夷
 山本 節子
 酒天童子の名のある椿火の色に
 仙波登志子
 補聴器や耳に溶け込む遍路鈴
 山田 静江
 朝ぼらけ夢の続きに居てのどか
 田村 治子
 音立てて流氷に罅砕氷船
 大和田いそ子

城辺川柳会

「ひとり」
 朝昼晩ひとりの食事味気ない
 本多 暁
 人生のひとり暮らしは辛い道
 沖 佐賀
 一人相撲カんでうっちゃり勝つ神事
 本多 一会
 後味の悪さひとりでかみしめる
 稲田つるみ
 ひとりでは届かぬ背中サロンパス
 木戸富士子
 ひとり居の明かり数多の春団地
 矢鋪 都
 絶好調自由を謳歌するひとり
 橋本 百代

愛南町

公式LINEアカウント
はじめました





防災情報や暮らしに
役立つ情報をお届けします！



ともだち登録よろしくな〜し♪